

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	サービス接遇 I		
実務家教員授業			
学部・学科	ブライダルイベント学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義 演習		
授業時間	60 単位時間		
授業コマ数	30 コマ		
授業概要	接客の基本を理解し、サービス接遇検定 2 級レベルの知識の定着を図る		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	サービス接遇検定 2 級に合格できるレベルの知識を身に着ける		
教科書	就職に効く！サービス接遇検定 3・2 級テキスト&問題集		
特記			
授業計画	1 サービス接遇検定の概要説明、サービススタッフの資質①	16 一般知識①	
	2 サービススタッフの資質②	17 一般知識②	
	3 サービススタッフの資質③ 練習問題・解答解説	18 一般知識③ 練習問題・解答解説	
	4 対人技能①	19 模擬問題①	
	5 対人技能②	20 模擬問題②	
	6 対人技能③	21 模擬問題③	
	7 対人技能④ 練習問題・解答解説	22 模擬問題④	
	8 実務技能①	23 模擬問題⑤	
	9 実務技能②	24 模擬問題⑥	
	10 実務技能③	25 模擬問題⑦	
	11 実務技能④	26 模擬問題⑧	
	12 実務技能⑤ 練習問題・解答解説	27 模擬問題⑨	
	13 専門知識①	28 模擬テスト①	
	14 専門知識②	29 模擬テスト②	
	15 専門知識③ 練習問題・解答解説	30 模擬テスト③	
成績評価方法 (試験実施方法)	28コマ目～30コマ目でテストを実施。		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員授業	
学部・学科	プライダルイベント学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 3 級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 1 2 訓読み・送り仮名 2 3 熟語 1 4 熟語 2 5 熟語 3 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正 1 8 誤字訂正 2 9 項目別模擬試験 1 10 項目別模擬試験 2 11 直前模擬試験 1 12 直前模擬試験 2 13 直前模擬試験 3 14 直前模擬試験 4 15 直前模擬試験 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	プライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格できる知識を習得する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 訓読み・送り仮名2 3 熟語1 4 熟語2 5 熟語3 6 熟語4 7 異字同訓 8 同音異義 9 誤字訂正1 10 誤字訂正2 11 類義語 12 反対語1 13 反対語2 14 漢字の意味・使い方1 15 漢字の意味・使い方2
成績評価方法 (試験実施方法)	各セクションでの確認テストにおける得点にて評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方、身嗜みチェック 3 初級面接効果測定 4 自己分析① 5 自己分析② 6 自己分析③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 志望動機① 11 志望動機② 12 志望動機③ 13 面接カードの作成 14 中級面接効果測定 15 模擬面接試験の検証
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	サービス接遇Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	
授業の進め方	相モデルで面接練習を行い、スキルの向上を図る
達成目標	サービス接遇検定準1級に合格できるレベルのスキルを身に着ける
教科書	サービス接遇検定準1級 受験ガイド
特記	
授業計画	1 サービス接遇検定準1級概要説明 2 発声練習、あいさつ練習 3 あいさつ、基本言動 4 接客応答① 5 接客応答② 6 接客対応① 7 接客対応② 8 あいさつ、基本言動、接客応答 ロールプレイング① 9 あいさつ、基本言動、接客応答 ロールプレイング② 10 接客応答、接客対応 ロールプレイング① 11 接客応答、接客対応 ロールプレイング② 12 サービス接遇検定準1級 通し練習① 13 サービス接遇検定準1級 通し練習② 14 模擬テスト 15 振り返り・最終通し練習
成績評価方法 (試験実施方法)	14コマ目に本番を想定したテストを実施。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題演習により知識の定着を図る
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格する
教科書	項目別答練・直前答練
特記	
授業計画	1 項目別答練① 2 項目別答練② 3 項目別答練③ 4 項目別答練④ 5 項目別答練⑤ 6 直前答練① 7 直前答練② 8 直前答練③ 9 直前答練④ 10 直前答練⑤ 11 模擬試験① 12 模擬試験② 13 模擬試験③ 14 模擬試験④ 15 模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 職種研究③ 9 職種研究④ 10 面接効果測定準備 11 上級面接効果測定 12 模擬面接準備 13 模擬面接① 14 模擬面接② 15 模擬面接③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション演習
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PowerPointの基本を理解し、プレゼンテーション能力を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	PowerPointに関する基礎知識を身につける
教科書	30時間でマスター プrezentation+PowerPoint2016
特記	
授業計画	<p>1 章 プrezentationとは</p> <p>2 章 PowerPointを使ったプレゼンテーション資料の作成 基本の操作、作成、印刷</p> <p>2 章 実習問題</p> <p>3 章 プrezentationのテクニック ブラッシュアップ、グラフや図形の挿入、本番に向けて</p> <p>4 章 実習問題</p> <p>5 章 プrezentationの実施と反省</p> <p>6 PowerPoint課題①</p> <p>7 PowerPoint課題②</p> <p>8 PowerPoint課題③</p> <p>9 PowerPoint課題④</p> <p>10 オリジナルプレゼンテーション課題準備①</p> <p>11 オリジナルプレゼンテーション課題準備②</p> <p>12 オリジナルプレゼンテーション課題準備③</p> <p>13 オリジナルプレゼンテーション課題準備④</p> <p>14 発表リハーサル</p> <p>15 発表</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目の発表にて総合評価。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																
授業科目	WORD基礎																																
実務家教員授業																																	
学部・学科	ブライダルイベント学科																																
履修年次	1年次																																
開講学期	前期																																
科目区分	選択																																
授業方法	演習																																
授業時間	30単位時間																																
授業コマ数	15コマ																																
授業概要	あらゆる企業で使用されている文書作成ソフトの基本を身につける																																
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																
達成目標	WORDに関する基礎知識を身につけ、ビジネス文書が作成できるようになる																																
教科書	30時間でマスター Word 2016																																
特記																																	
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td><td>1章 Windows 10の基礎</td></tr> <tr> <td></td><td>2章 Word入門 起動、終了、文字入力</td></tr> <tr> <td>2</td><td>2章 実習問題</td></tr> <tr> <td>3</td><td>3章 文書の作成 入力、保存と読み込み、印刷、削除</td></tr> <tr> <td>4</td><td>3章 実習問題</td></tr> <tr> <td>5</td><td>4章 Wordの活用 編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入</td></tr> <tr> <td>6</td><td>4章 実習問題</td></tr> <tr> <td>7</td><td>5章 Wordの活用2 画像の利用・ワードアート・図形描写・スマートアート</td></tr> <tr> <td>8</td><td>5章 実習問題</td></tr> <tr> <td>9</td><td>6章 Wordの応用 はがき作成・差し込み印刷・グラフの挿入</td></tr> <tr> <td>10</td><td>6章 実習問題</td></tr> <tr> <td>11</td><td>7章 Wordによるプレゼンテーション レポート作成・ページ区切り</td></tr> <tr> <td>12</td><td>問題演習①</td></tr> <tr> <td>13</td><td>問題演習②</td></tr> <tr> <td>14</td><td>問題演習③</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総合問題テスト</td></tr> </table>	1	1章 Windows 10の基礎		2章 Word入門 起動、終了、文字入力	2	2章 実習問題	3	3章 文書の作成 入力、保存と読み込み、印刷、削除	4	3章 実習問題	5	4章 Wordの活用 編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入	6	4章 実習問題	7	5章 Wordの活用2 画像の利用・ワードアート・図形描写・スマートアート	8	5章 実習問題	9	6章 Wordの応用 はがき作成・差し込み印刷・グラフの挿入	10	6章 実習問題	11	7章 Wordによるプレゼンテーション レポート作成・ページ区切り	12	問題演習①	13	問題演習②	14	問題演習③	15	総合問題テスト
1	1章 Windows 10の基礎																																
	2章 Word入門 起動、終了、文字入力																																
2	2章 実習問題																																
3	3章 文書の作成 入力、保存と読み込み、印刷、削除																																
4	3章 実習問題																																
5	4章 Wordの活用 編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入																																
6	4章 実習問題																																
7	5章 Wordの活用2 画像の利用・ワードアート・図形描写・スマートアート																																
8	5章 実習問題																																
9	6章 Wordの応用 はがき作成・差し込み印刷・グラフの挿入																																
10	6章 実習問題																																
11	7章 Wordによるプレゼンテーション レポート作成・ページ区切り																																
12	問題演習①																																
13	問題演習②																																
14	問題演習③																																
15	総合問題テスト																																
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目総合問題テストにて判定。																																
備考																																	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	WORD応用
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基本操作ならびにWORDの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS WORDレベルの操作を習得する
教科書	テキストおよび参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	秘書実務
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科 トータルビューティー学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義 演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	秘書検定合格に向け、秘書としての資質、職務・一般知識、マナー接遇の知識を習得する。
授業の進め方	問題演習と解説を繰り返し行う。合格ライン未到達の場合は補講を実施。
達成目標	秘書検定に合格できるレベルの理論・実技の知識を身に付ける
教科書	秘書検定 2級に面白いほどかかる本
特記	
授業計画	1 社会人に必要な自覚と心構え、秘書に求められる人柄 2 秘書に求められる能力 3 秘書の役割・機能、職務内容 4 一般知識 5 報告・説明の仕方 6 敬語の用法 7 電話応対① 8 電話応対② 9 来客応対① 10 来客応対② 11 社内文章・社外文章① 12 社内文章・社外文章② 13 メール・郵便・書類整理の知識① 14 メール・郵便・書類整理の知識② 15 出張の注意点・オフィスの環境作り
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト90%、秘書検定の合否10%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																
授業科目	E X C E L 基礎																																
実務家教員授業																																	
学部・学科	ブライダルイベント学科																																
履修年次	2年次																																
開講学期	後期																																
科目区分	選択																																
授業方法	演習																																
授業時間	30単位時間																																
授業コマ数	15コマ																																
授業概要	あらゆる企業で使用されている表計算ソフトの基本を身につける																																
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																
達成目標	E X C E L に関する基礎知識を身につける																																
教科書	30時間でマスター Excel 12016																																
特記																																	
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>1章 E X C E L の基礎知識 起動、終了、データ入力</td></tr> <tr><td>2</td><td>2章 E X C E L 入門 合計、保存、呼び出し、印刷、グラフ、オートフィル 実習1～4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3章 ワークシートの活用（1）行列の削除、挿入、移動、平均 実習5、実習6</td></tr> <tr><td>4</td><td>3章 ワークシートの活用（1）罫線、形式を選択して貼り付け オートカルク、セルのスタイル 実習7～実習10</td></tr> <tr><td>5</td><td>4章 ワークシートの活用（2）</td></tr> <tr><td>6</td><td>4章 絶対参照、割合、%表示、カンマ表示、フォント、属性 ワークシートの活用（2）</td></tr> <tr><td>7</td><td>4章 MAX、MIN、COUNT、COUNTA 実習11～実習14 ワークシートの活用（2）</td></tr> <tr><td>8</td><td>7章 ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN 実習15～実習17</td></tr> <tr><td>9</td><td>4章 ワークシートの活用（2） IF、条件付き書式、スパークライン 実習18</td></tr> <tr><td>10</td><td>5章 グラフ（1） 実習19～実習24</td></tr> <tr><td>11</td><td>6章 グラフ（2）</td></tr> <tr><td>12</td><td>7章 データベース 並べ替え、抽出、データの集計 実習32、実習33</td></tr> <tr><td>13</td><td>8章 E X C E L の応用 順位付け、VLOOKUP、HLOOKUP</td></tr> <tr><td>14</td><td>問題演習①</td></tr> <tr><td>15</td><td>問題演習②</td></tr> <tr><td></td><td>15 総合問題テスト</td></tr> </table>	1	1章 E X C E L の基礎知識 起動、終了、データ入力	2	2章 E X C E L 入門 合計、保存、呼び出し、印刷、グラフ、オートフィル 実習1～4	3	3章 ワークシートの活用（1）行列の削除、挿入、移動、平均 実習5、実習6	4	3章 ワークシートの活用（1）罫線、形式を選択して貼り付け オートカルク、セルのスタイル 実習7～実習10	5	4章 ワークシートの活用（2）	6	4章 絶対参照、割合、%表示、カンマ表示、フォント、属性 ワークシートの活用（2）	7	4章 MAX、MIN、COUNT、COUNTA 実習11～実習14 ワークシートの活用（2）	8	7章 ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN 実習15～実習17	9	4章 ワークシートの活用（2） IF、条件付き書式、スパークライン 実習18	10	5章 グラフ（1） 実習19～実習24	11	6章 グラフ（2）	12	7章 データベース 並べ替え、抽出、データの集計 実習32、実習33	13	8章 E X C E L の応用 順位付け、VLOOKUP、HLOOKUP	14	問題演習①	15	問題演習②		15 総合問題テスト
1	1章 E X C E L の基礎知識 起動、終了、データ入力																																
2	2章 E X C E L 入門 合計、保存、呼び出し、印刷、グラフ、オートフィル 実習1～4																																
3	3章 ワークシートの活用（1）行列の削除、挿入、移動、平均 実習5、実習6																																
4	3章 ワークシートの活用（1）罫線、形式を選択して貼り付け オートカルク、セルのスタイル 実習7～実習10																																
5	4章 ワークシートの活用（2）																																
6	4章 絶対参照、割合、%表示、カンマ表示、フォント、属性 ワークシートの活用（2）																																
7	4章 MAX、MIN、COUNT、COUNTA 実習11～実習14 ワークシートの活用（2）																																
8	7章 ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN 実習15～実習17																																
9	4章 ワークシートの活用（2） IF、条件付き書式、スパークライン 実習18																																
10	5章 グラフ（1） 実習19～実習24																																
11	6章 グラフ（2）																																
12	7章 データベース 並べ替え、抽出、データの集計 実習32、実習33																																
13	8章 E X C E L の応用 順位付け、VLOOKUP、HLOOKUP																																
14	問題演習①																																
15	問題演習②																																
	15 総合問題テスト																																
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目総合問題テストにて判定。																																
備考																																	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習I
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成（1）① 11 表、画像、図形を使った文書の作成（1）② 12 表、画像、図形を使った文書の作成（1）③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成（1）④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マナー・プロトコール
実務家教員授業	
学部・学科	プライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	マナー・プロトコールの基本的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義を問題演習により知識の定着を図る
達成目標	マナー・プロトコール検定3級合格を目指す
教科書	協会指定テキスト・問題集
特記	
授業計画	<p>1 序章・1章：マナーを学ぶ意義、マナーの歴史、作法の成り立ち、西洋・アジアのマナー</p> <p>2 10章：1月から12月の行事</p> <p>3 10章：1月から12月の行事②【序章・1章・10章 問題演習】</p> <p>4 2章：プロトコールの原則、席次表</p> <p>5 2章：社交場のマナー、挨拶と紹介、外国人への贈り物</p> <p>6 2章：国旗の扱い、礼拝場でのマナー、異文化コミュニケーション【2章問題演習】</p> <p>7 3章：メラビアンの法則、礼装の基準</p> <p>8 3章：贈答、手紙のマナー【3章問題演習】</p> <p>9 4章：ビジネスマナー、名刺の扱い方</p> <p>10 4章：電話対応、トラブル対応、来客対応</p> <p>11 4章：ビジネス文書、押印、電子メール【4章問題演習】</p> <p>12 5章：食事作法の基本、和食のマナー、和室の作法</p> <p>13 5章：西洋料理のマナー、中国料理</p> <p>14 5章：各国の料理マナー【5章問題演習】</p> <p>15 7章：冠婚葬祭とは、日本の主な通過儀礼</p> <p>16 7章：冠婚葬祭とは、日本の主な通過儀礼②【7章問題演習】</p> <p>17 8章：結婚の変遷、結婚式マナー</p> <p>18 8章：結婚の変遷、結婚式マナー②【8章問題演習】</p> <p>19 9章：仏式の葬儀、神式の葬儀</p> <p>20 9章：キリスト教式の葬儀、葬儀・告別式でのマナー【9章問題演習】</p> <p>21 項目別問題①【1～4章 集中講義】</p> <p>22 項目別問題②【5～8章 集中講義】</p> <p>23 項目別問題③【9～10章 集中講義】</p> <p>24 直前答案練習①</p> <p>25 直前答案練習②</p> <p>26 直前答案練習③</p> <p>27 直前答案練習④</p> <p>28 直前答案練習⑤</p> <p>29 直前答案練習⑥</p> <p>30 直前答案練習⑦</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	秘書検定総合
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	秘書的業務についての基礎的な知識と技能を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	秘書的業務を行うために必要とされる知識と技能を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 項目別問題1 2 項目別問題2 3 項目別問題3 4 項目別問題4 5 基礎練習問題1 6 基礎練習問題2 7 基礎練習問題3 8 基礎練習問題4 9 基礎練習問題5 10 直前答案練習1 11 直前答案練習2 12 直前答案練習3 13 直前答案練習4 14 直前答案練習5 15 直前答案練習6
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験90% 検定合否10%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話）I
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。
授業の進め方	各種資料とロールプレイングとディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	基本的な英会話が出来るようになる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 Hello! (Introductions) ① 2 Hello! (Introductions) ② 3 Your World (Countries) ① 4 Your World (Countries) ② 5 All about you (Occupations) ① 6 All about you (Occupations) ② 7 Family and friends (Talking about people you know) ① 8 Family and friends (Talking about people you know) ② 9 Family and friends (Talking about people you know) ③ 10 The way I live (Lifestyle and hobbies) ① 11 The way I live (Lifestyle and hobbies) ② 12 Every day (Routines) ① 13 Every day (Routines) ② 14 My favourites (Things you like) ① 15 My favourites (Things you like) ②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話）Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ネイティブスピーカーとの英会話レッスンで全員が発話しつつ授業を進めていく。
授業の進め方	各種資料とロールプレイングとディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	基本的な英会話が出来るようになる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<p>1 My favourites (Things you like)</p> <p>2 Where I live (Your city and home) ①</p> <p>3 Where I live (Your city and home) ②</p> <p>4 Times past (Personal history) ①</p> <p>5 Times past (Personal history) ②</p> <p>6 We had a great time! (Recent past) ①</p> <p>7 We had a great time! (Recent past) ②</p> <p>8 We had a great time! (Recent past) ③</p> <p>9 I can do that! (Ability) ①</p> <p>10 I can do that! (Ability) ②</p> <p>11 Please and thank you (Offers and responses) ①</p> <p>12 Please and thank you (Offers and responses) ②</p> <p>13 Please and thank you (Offers and responses) ③</p> <p>14 Here and now (Current actions)</p> <p>15 It's time to go! (Farewells)</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）I
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	1. 読み書きができる。 2. 以下の簡単な会話ができる ①挨拶＆自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる”
教科書	外販教材・問題集
特記	
授業計画	<p>1 オリエンテーション；韓国語に関する豆知識 基本母音</p> <p>2 基本子音①説明&amp;子音「K」 復習と会話</p> <p>3 小テスト 基本子音②ー「N」&amp;「T」&amp;「R」 基本子音③ー「M」&amp;「P」&amp;「S」</p> <p>4 復習と会話 基本子音④ー「J」&amp;「H」+まとめ</p> <p>5 小テスト 激音①ー「Ch」と「Kh」 復習と会話</p> <p>6 激音②ー「Th」と「Ph」+まとめ 濃音①ー「KK」と「TT」と「PP」</p> <p>7 小テスト 復習と会話 濃音②ー「SS」と「JJ」+まとめ</p> <p>8 パッチム①〔P20の説明、P23N〕 復習と会話</p> <p>9 小テスト パッチム②〔P20K、P21B〕 パッチム③〔P22M、P21NG〕</p> <p>10 復習と会話 パッチム④〔P23L、P22T〕+まとめ</p> <p>11 小テスト 合成母音①〔P25&amp;26の説明〕 復習と会話</p> <p>12 合成母音②〔P27、28〕 &lt;1課&gt;私は日本人です。</p> <p>13 小テスト 宿題チェック &lt;1課&gt;私は日本人です。</p> <p>14 まとめ &lt;1課&gt;宿題チェック／総復習</p> <p>15 最終到達度確認テスト</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	最終到達度確認テストで70%以上のスコアを取得する。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	プライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実務的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る
教科書	実用中国語の10課
特記	実践経験者による講義
授業計画	<p>1 中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音</p> <p>2 中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化</p> <p>3 中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい</p> <p>4 簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について</p> <p>5 簡単な日常挨拶(2) 基本的語順(是 or 動詞を述語とする場合)・丁寧語について</p> <p>6 数字を覚えよう 年、月、日、曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」</p> <p>7 数字の活用 時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」</p> <p>8 存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞</p> <p>9 場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」</p> <p>10 買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語氣助詞「了」</p> <p>11 乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」</p> <p>12 電話をする→「是～的」の構文・結果補語</p> <p>13 約束する→ある経験を表す文型「動詞+过～」・まだ～していない「还没(有)～」</p> <p>確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」</p> <p>14 お客様の出迎え&amp;歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語「得」</p> <p>別れを告げる&amp;総復習</p> <p>15 仮説を表す「～的话」、「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	最終到達度確認テストで70%以上のスコアを取得する。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容						
授業科目	ブライダル総論Ⅰ						
実務家教員授業							
学部・学科	ブライダルイベント学科						
履修年次	1年次						
開講学期	前期						
科目区分	選択						
授業方法	講義						
授業時間	90単位時間						
授業コマ数	45コマ						
授業概要	ブライダルに関する基礎的な知識を習得する						
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る						
達成目標	ブライダルに関しての基本的な知識を身につける						
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード						
特記							
授業計画	1 Lesson 1 結婚とは 第1章 結婚の定義	16 第6章 仏前式	31 第11章、12章 引出物・引菓子、記録・記念アイテム				
	2 第2章 日本の結婚式	17 第7章 人前式	32 単元テスト				
	3 第3章 欧米の結婚式	18 第8章 シビルマリッジ 問題演習	33 Lesson 7 手配業務 第1章、2章、4章 ベーベー用品、衣装、ヘアメイク、着付け、引出物の手配				
	4 単元テスト	19 第9章～11章 披露宴、海外ウェディング、2次会	34 第3章、5章、6章 僕式・披露宴の演出、記録・記念アイテム、装花の手配				
	5 Lesson 2 ブライダルビジネス 第1章～3章 ブライダルビジネス、市場、業種	20 単元テスト	35 単元テスト				
	6 第4章、5章 関連業種、エリア特性	21 Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第1章 コーディネート 課題	36 Lesson 8 当日業務 第1章 コーディネーターの役割				
	7 課題：エリア特性について調べる。	22 第2章 衣装選定①洋装	37 第2章 僕式・披露宴進行表				
	8 第6章 業界の1年と集客システム	23 " ②和装	38 問題演習による振り返り				
	9 単元テスト	24 " ③花婿	39 第3章 当日のアンド業務				
	10 Lesson 3 ブライダルの基礎 第1章 見合いと結納	25 第3章、4章 プーケ、フラワー アイテムの選定、ヘアメイク、ネイルアート	40 第4章 テーブルセッティング 演習				
	11 第2章 結納・婚約式①基本	26 第5章、6章 会場コーディネート、テーブルコーディネート	41 第5章 当日のサービス業務 演習				
	12 結納・婚約式②地域による違いなど 留意点 問題演習	27 第7章、8章 ペーパーアイテム、ウェルカムアイテム、料理・飲物	42 単元テスト				
	13 第3章 ブライダル準備、挙式スタイルについて	28 第9章、10章 披露宴の基本演出、演出プラン	43 総復習				
	14 第4章 キリスト教式	29 課題：はやりの演出プランについて①調査	44 基本問題演習 習熟理解度テスト				
	15 第5章 神前式	30 ②発表	45 ブライダル実務2級 模擬問題				
成績評価方法 (試験実施方法)	授業時に出される課題の毎回の提出状況 30点 (1回5点×6回) 44コマ目実施 基礎問題演習習熟理解度テスト 20点 45コマ目実施 ブライダル実務2級 模擬問題 50点						
備考							

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ブライダル総論Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	ブライダルイベント学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義 演習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	ブライダルの基礎知識を活用し、ブライダル実務2級レベルの知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る	
達成目標	ブライダル実務2級に合格できるレベルの知識を身に着ける	
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード	
特記		
授業計画	1 Lesson 1 復習	16 過去問題 C
	2 Lesson 2 復習	17 過去問題 D
	3 Lesson 3 復習	18 過去問題 E
	4 Lesson 4 復習	19 過去問題 F
	5 Lesson 5 復習	20 過去問題 G
	6 Lesson 6 復習	21 過去問題 H
	7 Lesson 7 復習	22 過去問題 I
	8 Lesson 8 復習	23 過去問題 J
	9 直前答練①	24 過去問題 F 復習
	10 直前答練②	25 過去問題 G 復習
	11 直前答練③	26 過去問題 H 復習
	12 直前答練④	27 過去問題 I 復習
	13 直前答練⑤	28 過去問題 J 復習
	14 過去問題 A	29 直前模擬テスト①
	15 過去問題 B	30 直前模擬テスト②
成績評価方法 (試験実施方法)	直前模擬テストでの合格（正答率80%以上）	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ブライダル実務Ⅰ		
実務家教員授業	○		
学部・学科	ブライダルイベント学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ブライダル業界における実務について知る		
授業の進め方	各種資料による講義と見学などを通し、業界に対する理解を深める		
達成目標	業界における仕事の種類や内容を把握し、必要となる知識・技術について知る		
教科書	なし。項目ごとの資料による		
特記	ブライダル業界経験を持つ教員による講義		
授業計画	1 オリエンテーション（ブライダル業界について。職種など）	16 "	レポート
	2 各自による調査 PCによる（会場名、会社名、種別など）	17	会場見学 まとめレポート
	3 会場見学①ハウスウェディング1	18	ブライダルエステについて
	4 " レポート	19	ブライダルメイクについて
	5 会場見学②ハウスウェディング2	20	プランナーについて（フリープランナー）
	6 " レポート	21	ブライダルMCについて
	7 プランナーについて（ホテルウェディング）	22	ブライダルフォト・映像・音響・照明について
	8 会場見学③ホテルウェディング	23	業務演習①新規対応 講義「ヒアリング、会場案内、見積りなど」
	9 " レポート	24	ロールプレイング
	10 バンケットサービスについて	25	業務演習②接客対応 講義「婚礼までの流れ、申込手続き、規約説明など」
	11 ブライダルフラワーについて	26	ロールプレイング
	12 会場見学④専門式場	27	業務演習③コンセプトシートの作成①
	13 " レポート	28	コンセプトシートの作成②
	14 ドレスコーディネーターについて	29	業務演習④スケジュールの作成
	15 会場見学⑤貸衣装店	30	業務演習⑤見積の作成
成績評価方法 (試験実施方法)	各会場見学後および見学終了後、レポート提出（6回） 業務演習①～⑤はセクションごとで評価 による総合評価とする		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダルプロデュースⅠ
実務家教員授業	○
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ブライダルの実践的な知識を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基に、ブライダルショーの実演までの流れの中でより実践的に学ぶ
達成目標	2月に進級制作として、ブライダルショーの企画、実施。
教科書	なし
特記	ブライダル業界経験を持つ教員による講義
授業計画	<p>1 ガイダンス（今まで学んだものをショー形式で発表する、進級制作であることを理解させる。自主的に取り組めるよう意識付け。）、映像視聴 テーマの候補をあげさせる。</p> <p>2 テーマ決め。それぞれが挙げたテーマについてプレゼン。テーマの決定 役割分担決め①プロデューサー シーンごとのテーマ設定。モデル人数決め</p> <p>3 役割分担決め②（モデル、スタイルリスト、音響、司会、アシスタント、他に必要な役割を挙げる。）出演順、演出決め</p> <p>4 衣装調べ／演出用小物調べ</p> <p>5 衣装決定／演出用小物準備①</p> <p>6 衣装・小物作成／演出用小物準備②</p> <p>7 ヘアメイク調べ／会場演出用小物作成①ウエルカムボードなど</p> <p>8 ヘアメイク練習／会場演出用小物作成②</p> <p>9 曲調べ・台本作成①</p> <p>10 曲決定、編集、台本作成②</p> <p>11 通し練習①、台本修正</p> <p>12 通し練習②</p> <p>13 リハーサル①</p> <p>14 リハーサル②</p> <p>15 ブライダルショー</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目：制作に対する取り組む姿勢、協調性などを総合的に評価する。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プランニング演習Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	プランニングのための基礎技術を身に付ける
授業の進め方	新規接客のアイスブレイクからヒアリングを行い、挙式・披露宴のプランニングをグループで行う。また、そのプランに基づいて、事前打ち合わせまでひとりを行なう。
達成目標	必要な情報を聞き出せるような関係作りやコミュニケーションスキルを身に付ける。パワーポイントの資料を作成し、プレゼンテーションできる。
教科書	なし
特記	
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス（目的・目標およびグループで実施の意義の説明）グループ決め</li> <li>2 ヒアリングのための準備。ヒアリングシートの作成</li> <li>3 ヒアリング実施①</li> <li>4 プランニングシート作成①</li> <li>5 プランニングシート作成②</li> <li>6 ヒアリング実施②</li> <li>7 コラージュ作成①</li> <li>8 コラージュ作成②</li> <li>9 タイムテーブル作成①</li> <li>10 タイムテーブル作成②</li> <li>11 余興・曲打ち合わせ</li> <li>12 タイムテーブル通し確認</li> <li>13 プrezentation資料作成</li> <li>14 発表練習、資料修正</li> <li>15 発表</li> </ul>
成績評価方法 (試験実施方法)	2, 5, 8, 10, 13コマ目：制作物を各10点で評価 50点 (10点×5) 15コマ目：プレゼンテーション 50点
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダルセレモニーⅠ
実務家教員授業	○
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	挙式の各様式を実践的に学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に、模擬挙式の実演までの流れの中でより実践的に学ぶ
達成目標	模擬挙式のための知識・技術を習得し、3月に模擬挙式を実施する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	ブライダル業界経験を持つ教員による講義
授業計画	<p>1 挙式について復習①種類</p> <p>2 挙式について復習②人前式における演出について</p> <p>3 ガイダンス（模擬挙式に向けた課題である事を理解させる。 グループに分けすること、11月中旬発表を行うことの説明）</p> <p>4 グループ分け、テーマ・イメージの設定。お二人の設定</p> <p>5 プランニング①テーマに合わせた演出、小物について調べる。</p> <p>6 プランニング②挙式の流れの設定</p> <p>7 パワーポイントによる資料作成 音楽やコメントも入れる</p> <p>8 発表練習、リハーサル</p> <p>9 手直し</p> <p>10 発表会（各グループの総評（スコア付け）も実施。）</p> <p>11 挙式準備①役割分担、小物作成など</p> <p>12 挙式準備②</p> <p>13 挙式準備③</p> <p>14 挙式リハーサル</p> <p>15 模擬挙式</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	10コマ目：発表会にて100点にて得点付与（学生同士で評価も実施） 15コマ目：制作に対する取り組む姿勢、協調性などを総合的に評価する。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フォーマルウェア
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	冠婚葬祭における知識及びドレスコードの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	冠婚葬祭における衣装の知識を養い、フォーマルスペシャリスト検定準2級合格を目指す
教科書	フォーマルウェアルールブック
特記	
授業計画	1 フォーマルウェア基礎知識①冠婚葬祭における基礎知識 2 フォーマルウェア基礎知識②歴史、着用シーンなど 3 メンズ 昼 4 メンズ 夜 5 メンズ 弔事 6 問題演習 7 レディース 昼 8 レディース 夜 9 レディース 弔事 10 問題演習 11 ブライダルにおけるドレスコード 12 総合問題テスト 13 過去問題 答練 14 過去問題 答練 15 過去問題・模擬問題 答練
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験での合格（90点以上取得）
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ドレスコーディネートⅠ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ドレスコーディネートに関する基礎的な知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ドレスコーディネートに関しての基本的な知識を身につける
教科書	日本のドレスコーディネータ育成プログラム
特記	
授業計画	1 第1章 ブライダル業界 2 第2章 洋装、ウェディングドレスの歴史 3 第2章 ドレスの素材と装飾・フィッティング小物 4 第2章 洋装確認テスト 5 第2章 和装・第1章復習 6 第2章 和装確認テスト 7 第1～2章 演習問題 8 第3章 新郎の衣装 9 第1～3章 演習問題 10 第4章 両親媒酌人その他の列席者の衣装 11 第5章 ドレスコーディネーターの業務 練習問題 12 第6章 貸衣装店におけるドレスコーディネーター業務 13 第7章 婚礼美容 14 第4～7章 問題演習 15 総合問題テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	4コマ目洋装テスト (20点) 6コマ目和装確認テスト (20点) 15コマ目総合テスト (60点) 合計得点にて判定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ドレスコーディネート演習		
実務家教員授業	○		
学部・学科	プライダルイベント学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ドレスコーディネーターの仕事を講義と演習により学ぶ		
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ		
達成目標	ドレスコーディネーターに必要なフィッティング、補正などの技術の基礎と接客を身に着ける		
教科書	日本のドレスコーディネータ育成プログラム、項目ごとの資料		
特記	プライダル業界経験を持つ教員による講義		
授業計画	1 フィッティング方法①「バスト、ウエスト、丈、ヒールの合わせ方」	16 和装の取り扱い方④ ③復習・演習	
	2 フィッティング方法②「インナー、パニエの合わせ方」、①振り返り	17 和装の取り扱い方⑤引き振袖	
	3 イメージ作り①基礎知識	18 和装の取り扱い方⑥ ⑤復習・演習	
	4 イメージ作り②ノーブル	19 アテンド①基礎	
	5 イメージ作り③ナチュラル	20 アテンド②演習	
	6 イメージ作り④キュート	21 補正①ドレス 丈	
	7 イメージ作り⑤モード	22 補正②ドレス バスト・脇	
	8 素材の印象	23 補正③演習	
	9 コーディネート演習	24 補正④メンズ	
	10 タキシードとのバランス	25 補正⑤演習	
	11 コーディネーターの接客・心構え①基礎	26 問題演習①	
	12 コーディネーターの接客・心構え②演習	27 問題演習②	
	13 和装の取り扱い方①襦袢、掛け下	28 問題演習③	
	14 和装の取り扱い方② ①復習・演習	29 問題演習④	
	15 和装の取り扱い方③打掛、懐剣など	30 総合テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	各セクションで実技試験（70点以上）		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダルアイテムⅠ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	招待状や席次表など、結婚式や披露宴に必要なアイテム類の基礎知識を学び作成する
授業の進め方	各アイテムに関する講義と演習により、知識の定着を図る
達成目標	ブライダルアイテムに関する基礎的な知識を身に着ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ブライダルアイテムの種類・ペーパーアイテムについて 2 招待状基礎知識・作成① (フォーマルスタイル) 時候の挨拶、招待状のマナーについて 3 招待状作成② (カジュアルスタイル) 図の挿入による飾りつけ 4 招待状作成③ (和スタイル) 5 招待状 (表紙) 用紙の設定 (段組・ラベル用紙など) 6 付箋 基礎知識・作成 7 出欠ハガキ 基礎知識・作成 8 席札 基礎知識・作成 9 サンキューカード 基礎知識・作成 10 メニュー 基礎知識・作成 11 プロフィール 基礎知識・作成 12 席次表 基礎知識・作成 13 リーフレット作成 14 ウエルカムアイテム テーマ・デザイン決め 15 ウエルカムアイテム作成・発表
成績評価方法 (試験実施方法)	作成物による課題提出 (5点×12回) 15コマ目ウェルカムアイテムによる評価 (40点)
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	テーブルコーディネート		
実務家教員授業			
学部・学科	プライダルイベント学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	プライダルにおける空間演出のために必要なテーブルコーディネートについて学習する。		
授業の進め方	必要な基礎知識の講義後、テーブルコーディネートの企画・演習を通して、知識の定着を図る。発表を通じて評価する。		
達成目標	基礎知識を踏まえ、グループで協力し、イメージに合わせたテーブルコーディネートを、企画・コーディネートする能力を養う。		
教科書	なし。項目ごとの資料による		
特記			
授業計画	1 テーブルコーディネートとは。イメージ分類について	16 イメージスケール⑤エレガント	
	2 什器・食器・備品類の知識①プレート	17 イメージスケール⑥クラシック	
	3 什器・食器・備品類の知識②グラス、アルコール類	18 イメージスケール⑦シンプル	
	4 什器・食器・備品類の知識③カトラリー（個人用、サービス用）	19 イメージスケール⑧モダン	
	5 什器・食器・備品類の知識④コース料理の順序	20 演習①テーブルコーディネート(1) グループ分け、テーマ決め	
	6 テーブルセッティング演習①プレート、カトラリー	21 演習①テーブルコーディネート(2) イメージ、企画書作成	
	7 什器・食器・備品類の知識⑤和食器(1) 和食の種類、皿、椀、茶器	22 演習①テーブルコーディネート(3) 準備	
	8 什器・食器・備品類の知識⑥和食器(2) 箸、マナー、膳のセッティング	23 演習①テーブルコーディネート(4) 発表練習	
	9 什器・食器・備品類の知識⑦リネン類（クロス、ナプキンなど）	24 演習①テーブルコーディネート(5) 発表・レポート	
	10 テーブルセッティング演習②ナプキン	25 演習②披露宴用テーブル(1) グループ分け、テーマ決め	
	11 イメージスケールとは	26 演習②披露宴用テーブル(2) イメージ、企画書作成	
	12 イメージスケール①カジュアル	27 演習②披露宴用テーブル(3) 準備	
	13 イメージスケール②ハードカジュアル	28 演習②披露宴用テーブル(4) 準備	
	14 イメージスケール③ロマンティック	29 演習②披露宴用テーブル(5) 発表練習	
	15 イメージスケール④ナチュラル	30 演習②披露宴用テーブル(6) 発表・レポート	
成績評価方法 (試験実施方法)	12~19コマ目：コラージュ作成 40点（5点×8作品） 24コマ目：発表にて 60点、レポート 20点 30コマ目：発表にて 60点、レポート 20点 200点満点で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フラワーアレンジメント
実務家教員授業	○
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	花材の取り扱いを身に着け、アレンジメントやブーケを始めとし、ウエディングの装花まで実習する。
授業の進め方	有識者の指導を基に、実習形式で作品を作成し実践的に学ぶ
達成目標	花に関するトータルデザインを学び、ブライダル現場におけるフラワー装飾の基礎技術を身に着ける。
教科書	なし
特記	フラワー業界経験を持つ教員による実習
授業計画	1 花材・教材の基本的な取り扱い 2 フラワー装飾について・リボンの作成 3 フラワーアレンジメント① 4 フラワーアレンジメント② 5 ブートニア① 6 ブートニア② 7 花束① 8 花束② 9 ウエディングブーケ① 10 ウエディングブーケ② 11 ウエディングアレンジメント① 12 ウエディングアレンジメント② 13 ウエディング装花① 14 ウエディング装花② 15 ウエディング装花③
成績評価方法 (試験実施方法)	3~12コマ：各作品を5点満点で評価（5点×10回=50点） 13コマ：10点満点、14~15コマ：各20点満点 合計100点 制作に対する取り組む姿勢、協調性などを総合的に評価する。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ホテル概論
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	ホテルに関する基礎的な知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と見学などを通し、業界に対する理解を深める
達成目標	ホテルに関する基本的な知識を身につける。
教科書	ホテルテキスト 業務関連知識
特記	
授業計画	1 ホテル業界について 金沢のホテル調べ 2 第1章 ホテルスタッフの心得① 3 第1章 ホテルスタッフの心得② 4 第2章 ホテルの種類と組織 5 ホテル見学①シティホテル 6 " レポート 7 ホテル見学②ラグジュアリーホテル 8 " レポート 9 第3章 ホテルの歴史 ヨーロッパ、アメリカ 10 第3章 ホテルの歴史 日本 11 第5章 食品衛生と食物アレルギー 12 第8章 新しい法律 13 第11章 國際的な社交マナー プロトコル、ドレスコード 14 第12章 外国人との会話 15 習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	6コマ目、8コマ目実施 レポート 20点 (10点×2回) 15コマ目 習熟理解度テスト 80点
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	料飲サービス概論		
実務家教員授業			
学部・学科	プライダルイベント学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義 演習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	ホテル業界の料飲部門についての知識を習得し、ホテル実務技能認定試験料飲部門 初級レベルの知識の定着を図る。		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	ホテル実務技能認定試験料飲部門 初級レベルの知識を身につける。		
教科書	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編、各種資料		
特記			
授業計画	1 料飲部門基礎知識 バー・カウンターの種類、サービスの基本	16 レストラン⑨朝食	
	2 料飲①酒の基本知識	17 レストラン⑩日本料理、中華料理	
	3 料飲②醸造酒	18 レストラン⑪レストラン概要、レストランサービス	
	4 料飲③蒸留酒	19 レストラン⑫サービス技術、運営の基本	
	5 料飲④混成酒	20 レストラン 習熟理解度テスト	
	6 料飲⑤カクテル	21 宴会①宴会部門概要、宴会予約、宴会サービス	
	7 料飲 習熟理解度テスト	22 宴会②婚礼サービスと慶弔の知識	
	8 レストラン①什器・食器・備品の基礎知識	23 宴会 習熟理解度テスト	
	9 レストラン②メニュー	24 過去問題 A	
	10 レストラン③西洋料理の基礎知識 概要、順序、テーブルマナー	25 過去問題 B	
	11 レストラン④西洋料理 アミューズ、オードブル、スープ	26 過去問題 C	
	12 レストラン⑤西洋料理 魚料理	27 過去問題 D	
	13 レストラン⑥西洋料理 肉料理、グラニテ	28 過去問題 E	
	14 レストラン⑦西洋料理 ロースト、野菜料理	29 過去問題 F	
	15 レストラン⑧西洋料理 デザート、パン、ソース	30 最終授業模擬テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	7, 20, 23コマ目 習熟理解度テスト 100点 (30点、40点、30点) 24~29コマ目実施 過去問題 300点 (50点×6回) 最終授業模擬テスト 100点 合計500点で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ホテル検定総合
実務家教員授業	
学部・学科	プライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義 演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ホテル業界の料飲部門についての知識を習得し、ホテル実務技能認定試験料飲部門 初級レベルの知識の定着を図る。
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	ホテル検定合格
教科書	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編、各種資料
特記	
授業計画	1 項目別答練① 2 項目別答練② 3 項目別答練③ 4 項目別答練④ 5 項目別答練⑤ 6 練習問題① 7 練習問題② 8 練習問題③ 9 練習問題④ 10 練習問題⑤ 11 直前答練① 12 直前答練② 13 直前答練③ 14 直前答練④ 15 直前答練⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ネイル演習		
実務家教員授業			
学部・学科	プライダルイベント学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義 演習 実習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ネイル検定3級の習得		
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る		
達成目標	ネイリスト技能検定3級		
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック		
特記			
授業計画	1 教材・テキスト配布	16	3級実技試験 通し練習④
	2 教材明記・テキスト説明①	17	3級実技試験 通し練習⑤
	3 テキスト説明② 手指消毒	18	3級実技試験 通し練習⑥
	4 テキスト説明③ オレンジウッドスティック作成	19	3級実技試験 通し練習⑦
	5 ファイル・カラーリング①	20	3級実技試験 通し練習⑧
	6 ファイル・カラーリング②	21	3級実技試験 苦手分野練習①
	7 ネイルケア①	22	3級実技試験 苦手分野練習②
	8 ネイルケア②	23	3級実技試験 苦手分野練習③
	9 3級ネイルアート①	24	3級実技試験 苦手分野練習④
	10 3級ネイルアート②	25	3級実技試験 通し練習・最終ケア①
	11 3級ネイルアート③	26	3級実技試験 通し練習・最終ケア②
	12 3級ネイルアート④	27	3級実技試験 通し練習・最終ケア③
	13 3級実技試験 通し練習①	28	3級実技試験 通し練習・最終ケア④
	14 3級実技試験 通し練習②	29	3級実技試験前最終ケア①
	15 3級実技試験 通し練習③	30	3級実技試験前最終ケア②
成績評価方法 (試験実施方法)	27コマ・28コマ目に検定試験本番同様の実技試験を実施。		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	色彩概論
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	色彩に関しての基本ルールを学び理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	色彩に関しての基本的な知識を身につける
教科書	色彩検定公式テキスト
特記	
授業計画	1 基本 ガイダンス 各分野における色彩の活用例 色彩とその効果 • カラーダイヤル作成 2 基本 色の分類と三属性 3 基本 PCCS 4 基本 色はなぜ見えるのか 光と色 5 基本 眼のしくみ 6 基本 照明と色の見え方 • 問題演習による定着 7 基本 混色 8 基本 色の心理効果・色の視覚効果① 9 基本 色の視覚効果② 10 基本 配色の基本 色相からの配色 11 基本 配色の基本 トーンからの配色 • 配色技法 12 基本 配色イメージ・色名と基本色彩語 13 基本 ファッション色彩と配色 14 基本 インテリアと色彩 15 基本問題演習 習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業時に出される課題の毎回の提出状況 70点 (1回5点×14回) 15コマ目実施 基礎問題演習習熟理解度テスト 30点
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	色彩応用		
実務家教員授業			
学部・学科	ブライダルイベント学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	60 単位時間		
授業コマ数	30 コマ		
授業概要	色彩基礎の知識を活用し、色彩検定3級レベルの知識の定着を図る		
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る		
達成目標	色彩検定3級に合格できるレベルの知識を身に着ける		
教科書	色彩検定公式テキスト		
特記			
授業計画	1	項目別 色のはたらき・光と色・色の表示	16 検定直前対策
	2	項目別 色彩心理・色彩調和に関する問題演習	17 検定直前対策
	3	項目別 配色イメージ、ファッショニン、インテリア 問題演習	18 検定直前対策
	4	総合力問題演習①	19 集中復習 色彩調和
	5	総合力問題演習②	20 検定直前対策
	6	総合力問題演習③	21 検定直前対策
	7	集中復習 色の表示	22 検定直前対策
	8	検定直前対策	23 集中復習 眼
	9	検定直前対策	24 検定直前対策
	10	検定直前対策	25 検定直前対策
	11	集中復習 光と色	26 検定直前対策
	12	検定直前対策	27 集中復習 ファッショニン・インテリア
	13	検定直前対策	28 検定直前対策
	14	検定直前対策	29 検定直前対策
	15	集中復習 色彩心理	30 最終授業模擬テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	30コマ目実施 最終授業模擬テストの正答率にて判定。		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	パーソナルカラー基礎		
実務家教員授業			
学部・学科	プライダルイベント学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義 演習		
授業時間	60 単位時間		
授業コマ数	30 コマ		
授業概要	パーソナルカラーに関しての基本ルールを学び理解を深める		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	パーソナルカラー3級に合格できるレベルの知識を身に着け、パーソナルカラー診断のための基礎知識を習得する		
教科書	パーソナルカラー検定3級公式テキスト		
特記			
授業計画	1 ガイダンス パーソナルカラーとは・業界における活用方法など	16 第3章 色彩とファッショント ファッション概論	
	2 第1章 色彩と文化 四季・色と生活	17 第3章 色彩とファッショント イメージ用語の基礎知識	
	3 第1章 色彩と文化 日本の色の歴史①	18 第3章 色彩とファッショント プライダルと色彩	
	4 第1章 色彩と文化 日本の色の歴史②	19 第3章 習熟理解度テスト	
	5 第1章 色彩と文化 色の種類	20 第4章 パーソナルカラー 肌の色、皮膚の構造	
	6 第1章 習熟理解度テスト	21 第4章 パーソナルカラー 髪色の科学、ヘアメイク	
	7 第2章 色彩理論 色の仕組み 光・眼	22 第4章 パーソナルカラー 特徴、アンダートーン	
	8 第2章 色彩理論 色の仕組み 無彩色・有彩色・三属性	23 第4章 パーソナルカラー パステルサマー	
	9 第2章 色彩理論 CUS表色系 色相・色調・アンダートーン	24 第4章 パーソナルカラー ブリリアントウィンター	
	10 第2章 色彩理論 CUS表色系 色相配色／色調配色	25 第4章 パーソナルカラー ブライトスプリング	
	11 第2章 色彩理論 色の三属性と対比現象①	26 第4章 パーソナルカラー ディープオータム	
	12 第2章 色彩理論 色の三属性と対比現象②	27 第4章 習熟理解度テスト	
	13 第2章 色彩理論 色の感情効果	28 パーソナルカラー診断基礎知識①	
	14 第2章 色彩理論 色の配色効果	29 パーソナルカラー診断基礎知識②	
	15 第2章 習熟理解度テスト	30 最終授業模擬テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	習熟理解度テスト 80点（1回20点×4回） 30コマ目実施 最終授業模擬テスト 20点		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ブライダル総論Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	ブライダルイベント学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義 演習	
授業時間	30単位時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ブライダルの基礎知識を活用し、ブライダル実務検定1級レベルの知識定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	ブライダルの基礎知識を活用し、ブライダルコーディネート技能検定3級（国家試験）に必要な知識・技術の定着を図る	
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード	
特記		
授業計画	1 復習：ブライダル基礎知識	確認テスト
	2 復習：ブライダルマーケット	確認テスト
	3 復習：結納・お見合い	確認テスト
	4 復習：挙式（種類、契約、進行など）	確認テスト
	5 復習：アイテム選定（衣裳・ブーケ、料理など）	確認テスト
	6 復習：料金計算	確認テスト
	7 復習：接客（敬語、コミュニケーションスキルなど）	確認テスト
	8 直前答練①	
	9 直前答練②	
	10 直前答練③	
	11 直前答練④	
	12 直前答練⑤	
	13 答練（弱点強化）	
	14 模擬問題 A	
	15 模擬問題 B	
成績評価方法 (試験実施方法)	直前模擬テストでの合格（正答率80%以上）	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ブライダル総論IV	
実務家教員授業		
学部・学科	ブライダルイベント学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義 演習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	ブライダルの基礎知識を活用し、ブライダルコーディネート技能検定3級レベルの知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	ブライダルの基礎知識を活用し、ブライダルコーディネート技能検定3級（国家試験）に必要な知識・技術の定着を図る	
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード	
特記		
授業計画	1 Lesson 1 復習①	16 Lesson 6 復習①
	2 Lesson 1 復習②	17 Lesson 6 復習②
	3 単元 習熟理解度テスト	18 単元 習熟理解度テスト
	4 Lesson 2 復習①	19 Lesson 7 復習①
	5 Lesson 2 復習②	20 Lesson 7 復習②
	6 単元 習熟理解度テスト	21 単元 習熟理解度テスト
	7 Lesson 3 復習①	22 Lesson 8 復習①
	8 Lesson 3 復習②	23 Lesson 8 復習②
	9 単元 習熟理解度テスト	24 単元 習熟理解度テスト
	10 Lesson 4 復習①	25 過去問題 2018年度
	11 Lesson 4 復習②	26 過去問題 2019年度
	12 単元 習熟理解度テスト	27 過去問題 2020年度
	13 Lesson 5 復習①	28 過去問題 2021年度
	14 Lesson 5 復習②	29 過去問題 2022年度
	15 単元 習熟理解度テスト	30 直前総合テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	過去問題及び直前総合テストでの合格（正答率80%）	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダル実務Ⅱ
実務家教員授業	○
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ブライダル業界における実務について知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に、相モデルで業務演習を行い、より実践的に学ぶ
達成目標	ブライダルの基礎知識を活用し、ブライダルコーディネート技能検定3級（国家試験）の実技試験に必要な技術の定着を図る
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード
特記	ブライダル業界経歴を持つ教員による演習
授業計画	1 Lesson 4 コーディネーター業務とは 2 業務演習①新規対応 講義「ヒアリング、会場案内、見積りなど」 3 ロールプレイング 4 業務演習②接客対応 講義「婚礼までの流れ、申込手続き、規約説明など」 5 ロールプレイング 6 業務演習③プレゼンテーションの手法 コンセプトシートの作成① 7 コンセプトシートの作成② 8 業務演習④スケジュールの作成 9 業務演習⑤見積の作成 10 Lesson 5 打ち合わせ業務 ロールプレイング① 11 ロールプレイング② 12 直前模擬テスト① 13 直前模擬テスト② 14 直前模擬テスト③ 15 直前模擬テスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	3, 5, 10, 11コマ目 ロールプレイング 40点 (10点×4回) 6, 7コマ目 コンセプトシート 20点 (10点×2回) 12～15コマ目 直前模擬テスト 40点 (10点×4回)
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ブライダルプロデュースⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	ブライダルイベント学科			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習 実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	実践的な知識と実務を模擬披露宴の企画と実施により学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ			
達成目標	2月に卒業制作として、模擬披露宴の企画、実施。			
教科書	なし			
特記	ブライダル業界経験を持つ教員による実習			
授業計画	1 ガイダンス、映像視聴 テーマの候補をあげさせる。	16 演出の決定。演出用小物準備①	31 小物準備①（ドラジェなど）	
	2 テーマ決め。プレゼン、テーマの決定 役割分担決め①プロデューサー	17 メニュー調べ。（料理、ドリンク）	32 小物準備②	
	3 テーマにそった各種設定。 役割分担決め②新郎新婦	18 招待状の回収。座席決め	33 テーブルコーディネート用品準備	
	4 招待客の選出、人数の概算、会場の 候補	19 インビテーションアイテム作成 (席次表、メニューなど)	34 タイムテーブル確認	
	5 テーマに合わせた演出調べ①	20 ヘアメイク調べ／小物作成①	35 通し練習①	
	6 テーマに合わせた演出調べ②	21 ヘアメイク練習／小物作成②	36 会場打ち合わせ	
	7 衣装調べ	22 タイムテーブル作成①	37 リハーサル	
	8 会場のデコレーション案	23 余興打ち合わせ①	38 リハーサル、台本修正	
	9 イメージボード作成。イメージの統一	24 演出用小物準備②	39 通し練習②	
	10 衣装の決定	25 タイムテーブル作成②調整	40 模擬披露宴前日準備	
	11 招待状の作成	26 曲打ち合わせ	41 模擬披露宴前日準備	
	12 役割分担決め②当日（アンド、司会、 音響、キャプテン、サービス他）	27 台本作成①	42 模擬披露宴当日準備	
	13 ウエディングケーキ案調べ	28 台本作成②	43 模擬披露宴	
	14 会場演出用小物作成①ウエルカム ボードなど	29 タイムテーブル通し確認	44 模擬披露宴	
	15 会場演出用小物作成②	30 タイムテーブル完成	45 模擬披露宴	
成績評価方法 (試験実施方法)	45コマ目：制作に対する取り組む姿勢、協調性などを総合的に評価する。			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダルプランニング実習
実務家教員授業	○
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	プランニング力を上げるための講義・実技指導を行い、研究・発表能力を養う
授業の進め方	資料調べと作品の作成、発表実技演習を行う。
達成目標	パワーポイントにて3～5分の作品を作成し、全員で協力し発表する。
教科書	なし
特記	ブライダル業界経験を持つ教員による実習
授業計画	<p>1 ガイダンス（模擬披露宴に向けた課題であることを意識付け。） テーマの候補をあげさせる。</p> <p>2 グループ分け、グループ毎でのテーマを決める。</p> <p>3 第一弾プレゼンを行い、各グループがどのテーマにするか決定する。</p> <p>4 演出調べ①決定したテーマならではの演出を調べる。</p> <p>5 演出調べ②決定したテーマならではの演出を調べる。</p> <p>6 プランニング①演出の決定、流れを組む</p> <p>7 プランニング②ドレス決め</p> <p>8 プランニング③会場コーディネート</p> <p>9 プrezen用資料作成①</p> <p>10 プrezen用資料作成②</p> <p>11 発表練習</p> <p>12 リハーサル</p> <p>13 手直し</p> <p>14 手直し</p> <p>15 発表会（各グループの総評（スコア付け）も実施。）</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目：発表会にて100点にて得点付与（学生同士で評価も実施）
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダルセレモニーⅡ
実務家教員授業	○
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	実践的な知識と実務を模擬挙式の企画により学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ
達成目標	神前式、キリスト教式、仏前式など様々な形式の挙式を実践できるようになる
教科書	なし
特記	ブライダル業界経験を持つ教員による演習
授業計画	<p>1 挙式について復習 種類（キリスト教式、神前式、仏前式、人前式）</p> <p>2 挙式の流れの確認①キリスト教式 ロールプレイング</p> <p>3 挙式の流れの確認②神前式 ロールプレイング</p> <p>4 挙式の流れの確認③仏前式 ロールプレイング</p> <p>5 挙式の流れの確認④人前式 ロールプレイング</p> <p>6 グループ分け・新郎新婦の設定ならびに挙式形式の候補をあげる。</p> <p>7 第一弾プレゼンを行い、各グループがどの挙式形式を担当するか決定する。</p> <p>8 プランニング①挙式の流れの設定</p> <p>9 プランニング②挙式形式に合わせた演出、小物について調べる。 花嫁のれんや水あわせの儀など</p> <p>10 パワーポイントによる資料作成①素材集め</p> <p>11 パワーポイントによる資料作成②作成</p> <p>12 パワーポイントによる資料作成③音楽なども入れ、完成度を高める</p> <p>13 発表練習、リハーサル</p> <p>14 パワーポイントによる資料作成④手直し</p> <p>15 発表会（各グループの総評（スコア付け）も実施。）</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目：発表会にて100点にて得点付与（学生同士で評価も実施）
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ドレスコーディネートⅡ		
実務家教員授業			
学部・学科	ブライダルイベント学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義 演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ドレスコーディネートの基礎知識を活用し、認定ドレスコーディネーターの検定合格レベルの知識の定着を図る		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。		
達成目標	認定ドレスコーディネータ合格を目指す		
教科書	日本のドレスコーディネータ育成プログラム		
特記			
授業計画	1 第1章 ブライダル業界 復習	16 問題演習④	
	2 演習問題	17 問題演習⑤	
	3 第2章 洋装、歴史、素材 復習	18 問題演習⑥	
	4 演習問題	19 総合問題テスト	
	5 第2章 和装 復習	20 問題演習⑦	
	6 演習問題	21 問題演習⑧	
	7 第3章 新郎の衣装 復習	22 問題演習⑨	
	8 演習問題	23 総合問題テストⅡ	
	9 第4章 両親媒酌人その他の列席者の衣装 復習・演習問題	24 問題演習⑩	
	10 第5章 ドレスコーディネーターの業務 復習・演習問題	25 問題演習⑪	
	11 第6章 ドレスコーディネーター業務 復習・演習問題	26 最終テスト	
	12 第7章 婚礼美容 復習・演習問題	27 課題：コラージュ作成①	
	13 問題演習①	28 プレゼンテーション	
	14 問題演習②	29 課題：コラージュ作成②	
	15 問題演習③	30 プレゼンテーション	
成績評価方法 (試験実施方法)	19コマ目総合問題テスト（20点） 26コマ目最終テスト（40点） 30コマ目コラージュ、プレゼン（10点）	23コマ目総合問題テストⅡ（20点） 28コマ目コラージュ、プレゼン（10点） 上記合計得点にて判定	
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダルアイテムⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	結婚式や披露宴に必要なアイテム類のクオリティを上げるための基礎知識を学び作成する
授業の進め方	実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	カリグラフィなどを使用し、クオリティの高いブライダルのアイテムを作成できるようになる。
教科書	ZIGマーカーで書くカリグラフィー
特記	
授業計画	1 カリグラフィとは ペンの使用基礎 2 イタリック体①基礎 3 イタリック体②応用 フローリッシュ 4 課題：カード作成「Thank you」 5 アンシャル体①基礎 6 アンシャル体②応用 トリミング 7 課題：カード作成「Happy Birthday」 8 ゴシック体①基礎 9 ゴシック体②応用 花 10 課題：クリスマスカード作成 11 課題：ガーランドの作成 12 課題：ウェルカムボードの作成 13 課題：結婚証明書の作成 14 ウェルカムアイテム テーマ・デザイン決め 15 ウェルカムアイテム作成・発表
成績評価方法 (試験実施方法)	4, 7, 10, 11, 12, 13コマ目 課題提出 (10点×6回) 15コマ目ウェルカムアイテムによる評価 (40点)
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ウェディング実習		
実務家教員授業			
学部・学科	ブライダルイベント学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習 実習		
授業時間	60 単位時間		
授業コマ数	30 コマ		
授業概要	ブライダル業界で必要な各種技術の習得		
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ		
達成目標	業界における仕事の種類や内容を把握し、司会、カメラ、映像など必要となる知識・技術を習得する		
教科書	なし		
特記			
授業計画	1 オリエンテーション（ブライダル業界の関連技術について）	16 演習④司会 シーン別演習 お色直し入場～キャンドルサービスなど	
	2 演習①カメラ 一眼レフの使い方 ピントを合わせる、ズーム、シャッタースピード	17 演習④司会 シーン別演習 余興、友人スピーチ	
	3 演習①カメラ 構図について 人物撮影	18 演習④司会 シーン別演習 花束贈呈、謝辞	
	4 演習①カメラ シーン別撮影 風景撮影	19 演習⑤アテンド アテンド業務について	
	5 演習②音楽編集 音響基礎知識、披露宴用音響提案について	20 演習⑤アテンド 衣装別演習 洋装、和装 ポージング、座り方など	
	6 演習②音楽編集 音楽編集ソフトの使用方法	21 演習⑤アテンド シーン別演習 披露宴入場前～ケーキ入刀、お色直し退場	
	7 演習②音楽編集 サウンド編集課題	22 演習⑤アテンド シーン別演習 お色直し入場～キャンドルサービスなど	
	8 演習③映像 動画編集ソフトの使用方法	23 演習⑤アテンド シーン別演習 送賓	
	9 演習③映像 プロフィールビデオ作製①素材選び	24 演習⑥模擬披露宴用映像作成 オープニングムービー	
	10 演習③映像 プロフィールビデオ作製③編集、音楽	25 演習⑥模擬披露宴用映像作成 プロフィールビデオ作製①	
	11 演習③映像 思い出ムービー作成①素材選び	26 演習⑥模擬披露宴用映像作成 プロフィールビデオ作製②	
	12 演習③映像 思い出ムービー作成③編集、音楽、ナレーション	27 演習⑥模擬披露宴用映像作成 スタッフ紹介&思い出ビデオ①	
	13 演習④司会 司会について 基礎知識	28 演習⑥模擬披露宴用映像作成 スタッフ紹介&思い出ビデオ②	
	14 演習④司会 話し方基礎	29 演習⑥模擬披露宴用映像作成 スタッフ紹介&思い出ビデオ②	
	15 演習④司会 シーン別演習 披露宴入場前～ケーキ入刀、お色直し退場	30 演習⑥模擬披露宴用映像作成 エンディングムービー	
成績評価方法 (試験実施方法)	各セクション①②④⑤で実技試験 80点 (20点×4回) 演習⑥の課題 20点 (5点×4本)		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ブライダルメイク
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ヘアアレンジとメイクの基礎技術の習得
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	ヘアメイクの基礎技術を身につける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ヘア：ブラシ・コーム・スタイリング剤の使い方 2 ヘア：平ゴム、樹脂ゴムの使い方 3 ヘア：頭髪のブロッキング 4 ヘア：編み込み① 三つ編み（表・裏） 5 ヘア：編み込み② ツイスト 6 ヘア：編み込み③ フィッシュボーン 7 ヘア：テーマに沿ってのアップスタイル① 8 ヘア：テーマに沿ってのアップスタイル② 9 メイク：ベースメイク 10 メイク：ポイントメイク 11 メイク：テーマに沿ってのメイク① 12 メイク：テーマに沿ってのメイク② 13 メイク：テーマに沿ってのメイク③ 14 テーマに沿ってのヘアメイク① 15 テーマに沿ってのヘアメイク②
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目：制作に対する取り組む姿勢、創意工夫などを総合的に評価する。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ジェルネイル演習	
実務家教員授業		
学部・学科	ブライダルイベント学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義 演習 実習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	ジェルネイル検定初級の技術の習得	
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る	
達成目標	ジェルネイル技能検定試験初級	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1 教材配布・ジェルネイル検定初級について	16 ジェルネイル初級試験 通し練習②
	2 ネイルケア復習	17 ジェルネイル初級試験 通し練習③
	3 ネイルケア・ポリッシュカラーリング①	18 ジェルネイル初級試験 通し練習④
	4 ネイルケア・ポリッシュカラーリング②	19 ジェルネイル初級試験 苦手分野練習①
	5 ネイルケア・ポリッシュカラーリング③	20 ジェルネイル初級試験 苦手分野練習②
	6 ネイルケア・ポリッシュカラーリング④	21 ジェルネイル初級試験 苦手分野練習③
	7 ジエルカラーリング①	22 ジエルネイル初級試験 苦手分野練習④
	8 ジエルカラーリング②	23 ジエルネイル初級試験 通し練習⑤
	9 ジエルカラーリング③	24 ジエルネイル初級試験 通し練習⑥
	10 ジエルカラーリング④	25 ジエルネイル初級試験 模擬試験①
	11 ジエルアート（ピーコック）①	26 ジエルネイル初級試験 模擬試験②
	12 ジエルアート（ピーコック）②	27 ジエルネイル初級試験 通し練習・最終ケア①
	13 ジエルアート（ピーコック）③	28 ジエルネイル初級試験 通し練習・最終ケア②
	14 ジエルアート（ピーコック）④	29 ジエルネイル技能検定試験初級①
	15 ジエルネイル初級試験 通し練習①	30 ジエルネイル技能検定試験初級②
成績評価方法 (試験実施方法)	25コマ・26コマ目に上級検定試験本番同様の実技試験を実施。	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	着付実習	
実務家教員授業		
学部・学科	ブライダルイベント学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	きものの知識と実技を身に付ける	
授業の進め方	自装をマスター後、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る	
達成目標	二重太鼓の他装、振袖の飾り結びができるようになる。	
教科書	着物の教科書（全日本着物振興会）	
特記		
授業計画	1 着物の基本 和装小物の説明、ゆかた道具一式確認	16 裕 他装② 太鼓
	2 着物の片付け・体型補正	17 実技試験 他装 太鼓
	3 浴衣 自装 文庫	18 着物の応用 訪問着 二重太鼓
	4 着物の種類について 絽、紗	19 裕 自装① 二重太鼓
	5 浴衣 他装 花文庫	20 裕 自装② 二重太鼓
	6 浴衣 自装・他装 蝶々	21 実技試験 自装 二重太鼓
	7 実技試験 ゆかた	22 裕 他装① 二重太鼓
	8 着物の作法	23 裕 他装② 二重太鼓
	9 単衣 自装① 裳	24 実技試験 他装 二重太鼓
	10 単衣 自装② 太鼓	25 着物の応用 振袖 ふくら雀
	11 単衣 自装③ 太鼓	26 振袖 グループ ふくら雀①
	12 裕 自装① 太鼓	27 振袖 グループ ふくら雀②
	13 裕 自装② 太鼓	28 振袖 グループ 薔薇①
	14 実技試験 自装 太鼓	29 振袖 グループ 薔薇②
	15 裕 他装① 太鼓	30 総合テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	7, 14, 17, 21, 24コマ：実技試験 50点（各10点×5回） 27, 29コマ：グループワーク 20点（各10点×2回） 総合テスト 30点	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パーソナルカラー応用Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義 演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	パーソナルカラーの基礎知識を活用しパーソナルカラー2級レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	パーソナルカラー2級に合格できるレベルの知識を身に着ける。
教科書	パーソナルカラー検定2級公式テキスト
特記	
授業計画	<p>1 第1章 色彩と文化 染料・染色と顔料</p> <p>2 第1章 色彩と文化 ヨーロッパの色の歴史</p> <p>3 第1章 習熟理解度テスト</p> <p>4 第2章 色彩理論 混色・照明と色</p> <p>5 第2章 色彩理論 色の知覚効果</p> <p>6 第2章 色彩理論 基本的な配色テクニック</p> <p>7 第2章 習熟理解度テスト</p> <p>8 第3章 CUS配色調和理論</p> <p>9 第3章 習熟理解度テスト</p> <p>10 第4章 色彩を活かすテクニック ファッション</p> <p>11 第4章 色彩を活かすテクニック ティスプレイ・インテリア</p> <p>12 第4章 習熟理解度テスト</p> <p>13 第5章 パーソナルカラー パーソナルカラーとスタイリング</p> <p>14 第5章 パーソナルカラー ブライダルと色彩</p> <p>15 第5章 習熟理解度テスト</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	各セクションにおける習熟理解度テスト 100点（各20点×5回）
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パーソナルカラー応用Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	パーソナルカラーの基礎知識を活用しパーソナルカラー2級レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る
達成目標	パーソナルカラー2級に合格できるレベルの知識を身に着け、パーソナルカラー診断ができるようになる
教科書	パーソナルカラー検定2級公式テキスト
特記	
授業計画	1 項目別 パーソナルカラースタイリング、イメージ 2 項目別 CUS、配色問題 3 項目別 ヨーロッパの歴史、染料・顔料 4 項目別 ファッション、インテリア 5 項目別 色の知覚効果、混色、照明 6 検定直前対策① 7 検定直前対策② 8 検定直前対策③ 9 検定直前対策④ 10 検定直前対策⑤ 11 模擬テスト 12 演習 パーソナルカラー診断① 13 演習 パーソナルカラー診断② 14 演習 パーソナルカラー診断③ 15 パーソナルカラー診断テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	検定直前問題 50点（1回10点×5回） 模擬テスト 20点 15コマ目実施 パーソナルカラー診断テスト 30点
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プランニング演習
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	模擬披露宴のプランニングをすることで実務レベルの技術を身につける
授業の進め方	ヒアリングから事前打ち合わせまでひと通りを相モデルで実施
達成目標	卒業制作としてパワーポイントの資料を作成し、プレゼンテーションできる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ガイダンス（相モデルで実施の説明。各々の希望の設定） 2 ペア決め。ヒアリング実施① 3 ヒアリング②ヒアリングシート作成 4 プランニングシート作成① 5 プランニングシート作成② 6 コラージュ作成① 7 コラージュ作成② 8 タイムテーブル作成① 9 タイムテーブル作成② 10 余興打ち合わせ 11 曲打ち合わせ 12 タイムテーブル通し確認 13 プrezentation資料作成 14 発表練習、資料修正 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	3, 5, 7, 9, 13コマ目：制作物を各10点で評価 50点 (10点×5) 15コマ目：プレゼンテーション 50点
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビューティー演習
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	テーマ別でのブライダルヘアメイク技術の習得
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	ブライダルヘアメイク作品が作れるようになる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 メイク復習① 2 メイク復習② 3 テーマ別メイク① ウエディングドレス 4 テーマ別メイク② カラードレス 5 テーマ別メイク③ 和装メイク 6 チーム・テーマ決め 7 テーマ別ヘアメイク決め① 8 テーマ別ヘアメイク決め② 9 練習① 10 練習② 11 練習③ 12 練習④ 13 練習⑤ 14 練習⑥ 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目：制作に対する取り組む姿勢、創意工夫などを総合的に評価する。
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スタイリスト演習
実務家教員授業	
学部・学科	ブライダルイベント学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習 実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	テーマ別でのドレスコーディネート技術の習得
授業の進め方	グループで演習を行い、コーディネート力を身につける
達成目標	テーマに合わせた衣装や小物のコーディネートができるようになる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ウエディングドレスコーディネート① 2 ウエディングドレスコーディネート② 3 カラードレスコーディネート① 4 カラードレスコーディネート② 5 和装コーディネート① 6 和装コーディネート② 7 グループ・テーマ決め 8 テーマ別衣装コーディネート① 9 テーマ別衣装コーディネート② 10 テーマ別衣装コーディネート③ 11 テーマ別衣装コーディネート④ 12 テーマ別衣装コーディネート⑤ 13 テーマ別衣装コーディネート⑥ 14 リハーサル 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目：制作に対する取り組む姿勢、創意工夫などを総合的に評価する。
備考	